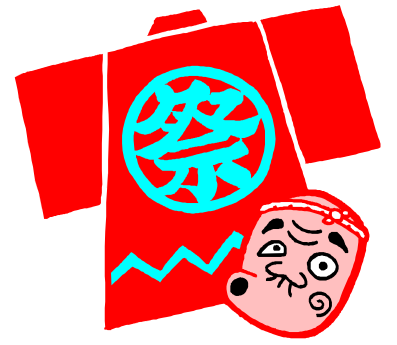




カレッジツアーリズム

「学び」と大学祭を活かす

名桜大学 国際学群 観光産業専攻

藤岡 実樹



発表内容

1 アイディアの背景

－新たな観光対象として「大学祭」をあげ「学び」と関連させて考えていく

2 アイディアの内容

－「学び」と大学祭を観光対象として活かした提案

3 現在の取り組み

－名桜大学での名桜祭の取り組みについて

4 PR方法の提案

－観光客、地域住民、高校生へのアプローチの方法

5 実現可能性

－実現可能性と課題

6 将来性・継続性

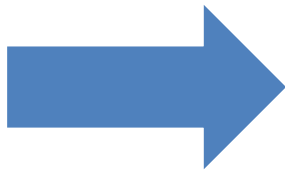
－大学が観光対象としてのあり方について

7 参考文献



背景

- ①沖縄県のリピーター増加に伴い、新たな観光対象を発見していきたい。新たに観光対象を作るのではなく、すでにあるものに焦点をあて活かしたいと考えた。
- ②自分が通っている大学をいろんな人に知ってもらいたい。
- ③自分自身大学祭実行委員であることから「大学祭」を関連させて考えていきたい。



「学び」と大学祭を活かして
観光客、地域の人、高校生に
知ってもらう

4つのアイデア

- ①出店で各大学対抗沖縄料理コンテスト
- ②各大学オリジナルエイサー
- ③地域の物産展
- ④専門性のある講義で大学の「学び」を知ってもらう



大学祭を観光対象とするために...

地域の方たちが気軽に訪れることができ、また、「沖縄らしさ」をアピールし、観光客に観光対象として認知してもらおう。



アイディアの内容

①各大学対抗沖縄料理コンテスト

沖縄そば、ちゃんぷるーなど沖縄料理を出店し、コンテストを開く。

②オリジナルエイサー

各大学大学祭でエイサーを披露する。



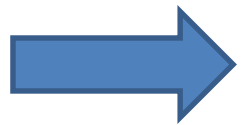
県外観光客をターゲットにし
「沖縄らしさ」をアピール



アイディアの内容

③地域の物産展

大学祭において地域の物産展を開く。
地産地消を目指していく。



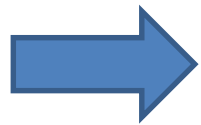
地域の方も気軽に訪れることができ、学生・地元の方に知ってもらおう。



アイディアの内容

④大学の「学び」を体験する

大学という専門性のある講義を知ってもらうことで、大学がどのようなものか知ってもらう。



大学に興味を持ってもらい
入学したいという高校生も増える



現在の取り組み

名桜大学では...

- ・ドクターヘリ「MESH」
- ・卒論展示
- ・名桜エイサーを披露



PR方法

- ・「沖縄県内大学祭パンフレット」の作成

—どの大学でどんなイベントが開催されているか
大学ごとにスタンプラリーの設置をする

- ・県外へもポスター、パンフレットの配布

—県外出身の学生も多くいるため、ポスター、パンフレットの掲示をし、観光客への認知度をあげる。

実現可能性

各大学の協力



大学祭を観光対象として認知してもらう



沖縄県大学祭ツアーの実現

将来性・継続性

- ☆大学祭を観光対象として知ってもらう
 - 地域の方、観光客の方が触れ合う機会が増える。
 - より多くの人に興味を持ってくれる。
- ☆観光客が大学祭を目的とし沖縄を訪れる
 - 新たな観光対象として認知してもらうことでリピーター離れからの脱却
- ☆高校生に「大学」を知ってもらう
 - 進学促進にも繋がる。

参考文献

- エデュケーショナルツアーフォーラム2013
教育CSR大賞（2014年5月21日）

(<http://csr-award.net/news/eduforum2013.html>)

- エデュケーショナルツーリズム推進事業
(2014年5月21日)

http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/documents/1_pdfsam_h24houkokusyo.pdf

ご清聴ありがとうございました。

